

2022年8月29日

川辺川ダム建設促進協議会 会長 森本完一様

代表連絡先（賛同団体は末尾掲載）

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880

国交省要請に対する抗議とダム促進協の解散を求める申し入れ書

報道によりますと、貴会は8月17日に国土交通省を訪れ、川辺川（流水型）ダムの早期完成に関する要望書を提出したとのこと。「球磨川流域住民の安全安心な生活が一日も早く実現できるよう川辺川（流水型）ダムの早期着工、完成および川辺川上流域における対策の推進と、生活再建事業の再開が図られるよう要望」したとあります。

この要請は公聴会やパブリックコメントなどで示されてきた被災者を始めとする流域住民や県民のダム反対の意思を無視した暴挙です。私たちは、このことに強く抗議します。

流水型ダムであっても、命と清流は守れません。ダムによる治水効果は極めて限定的であり、想定外の降雨には対応できず、緊急放流の危険性があります。また、他の流水型ダムの事例から明らかですが、流水型ダムであっても川の環境は破壊されてしまいます。

私たちは、一昨年の豪雨災害発生以降、行政側に対して豪雨災害の共同検証を求め続けてきましたが、行政側は拒否し続けました。これでは、整備計画が豪雨災害の検証結果を踏まえて策定されたものかどうか判断できません。

水害被災者を始めとする流域住民には、これまでの体験からダムに対する強い拒否感情や疑問があります。行政側は、これまでそのような思いや疑問を抱く住民に対して、納得のいく説明をしたことは全くありません。

貴職らは、理由もなく川辺川ダム建設を望んでいるだけであり、住民を代表して、住民が求める治水対策を国や県に求めるつもりがないことは明らかです。このように民意を無視した行為は民主主義を根底から否定するものです。改めて貴職らの行動に抗議します。また、貴会はこれまで、住民の税金を使って、法的根拠もなく、ダムを求める要請を国や県に行ってきました。住民にとって貴会の存在は、有害無益です。住民のために即刻、解散されることを強く申し入れます。

以上

賛同団体一覧

7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼 香代子 市花 保
坂本町被災者・支援者の会 代表 本田 進
清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣
美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃
瀬戸石ダムを撤去する会 共同代表 出水 晃 上村 雄一 本田 進